# ポートフォリオシート

| 氏名       | 畑中 龍之介               | 所属 東京コミュニケーションアート専門学校  |
|----------|----------------------|--|
| 作品名      | MagicSUP             | 作品画像   |
| ジャンル     | 教材                   | 3.0 SP   |
| プラットフォーム | PC                   |  |
| 開発環境     | Visual Studio<br>Wix | 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100  |
| 使用言語     | C、C++                | No. 107  |
| 制作期間     | 制作中<br>2021年3月~      | ### ### ### ### ### ### ### ### ### ##   |
| チーム人数    | プログラマー:9人            | To be a series of the series o |

#### ■概要

processingという言語をC++で再現しました。

担当の先生の1年生の授業で使用する教材です。

1年生はスケルトンプロジェクトをダウンロードして環境を整えます。

次にwebサイトに設問とライブラリのリファレンスが載っているので見ながら設問を解いていきます。

解けたら2年生がチェックをします。回答中に発見されたバグは随時、フォームに提出されるので、3年生が直していきます。

### ■アピールポイント

- ・ほかの学生がほぼ体験できない授業の講師をすることで教えることの学習効果を得てきました。
- ・いろいろな人とコミュニケーションをとってきたので相手の気持ちを汲み取ることが得意です。

# ■制作について

## O制作の流れ

設問作成→コードを書く→コードの確認→サイトに記載→授業

・設問作成

C言語に関した内容とライブラリに関した内容の設問を決めます。

・コードを書く

2年生が設問の答えとなるコードを作成します。

・コードの確認

説明した内容がコードに反映されているか見ます。

・サイトに記載

設問をサイトに記載します。

・授業

運営システムにのっとって1年生が回答を行います。

## ■やったこと

# Oライブラリ作成

DxLibを使用してprocessingをC++で再現しました。

#### 〇修正

実際に授業で運営する際に想定していない不具合が多々発見されていました。不具合の修正は行うのですが、制作時の担当者 がすでにいないので他人のコードを読んで修正しました。

## 〇引継ぎ

引継ぎの後に自分と同じミスを後任者がしないように、バージョンを更新する際にログを残しています。参考にしたサイトとやったことを残しておくことで、引き継いだ際に自分と同じミスをしないようにすることが出来ます。

授業で使うWEBのURL = <a href="https://tcagsmagicsup.wixsite.com/magic">https://tcagsmagicsup.wixsite.com/magic</a> GitHubのURL = <a href="https://github.com/MoAI-199/MagicSUP2022">https://github.com/MoAI-199/MagicSUP2022</a>